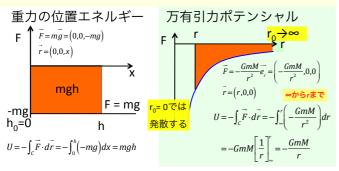
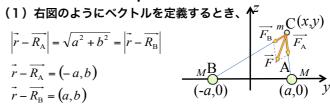
参考:万有引力ポテンシャルはなぜマイナスがつくのでしょうか?

$$U = -\frac{GmM}{r}$$
 $U = -\int_{C} \vec{F} \cdot d\vec{r}$ 経路は $U = 0$ から $U = 0$ となる 任意の経路

回答:万有引力ポテンシャルは無限遠(無限の高さ)でゼロになる。 それよりも内側 r (低い高さ)の位置エネルギーはマイナスになる。



問 1 演習問題4.1 p.73



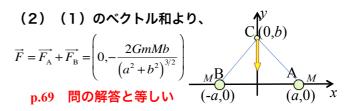
が成り立つ。よって、(3)式に代入して、

$$\overrightarrow{F_{A}} = -\frac{GmM}{\left|\overrightarrow{r} - \overrightarrow{R_{A}}\right|^{3}} \left(\overrightarrow{r} - \overrightarrow{R_{A}}\right) = \left(\frac{GmMa}{\left(a^{2} + b^{2}\right)^{3/2}}, -\frac{GmMb}{\left(a^{2} + b^{2}\right)^{3/2}}\right)$$

$$\overrightarrow{F_{B}} = -\frac{GmM}{\left|\overrightarrow{r} - \overrightarrow{R_{B}}\right|^{3}} \left(\overrightarrow{r} - \overrightarrow{R_{B}}\right) = \left(-\frac{GmMa}{\left(a^{2} + b^{2}\right)^{3/2}}, -\frac{GmMb}{\left(a^{2} + b^{2}\right)^{3/2}}\right)$$

$$4$$

10/14 レポート課題(1)



力はベクトルなので、x,y 成分をそれぞれ求めてから 合力をベクトル和として計算する必要がある。

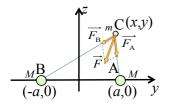
保存力の場合は、ポテンシャルを求めてから x, y成分について微分する方がだんぜん楽!

$$\vec{F} = -\vec{\nabla}U$$

万有引力の合力: **F** = -**∇**Uとどっちが楽?

問題 (1) 万有引力 $F_{A}(A \rightarrow C)$ 、 $F_{B}(B \rightarrow C)$ を求めよ。

 $(2) F_A と F_B$ の合力を求めよ。



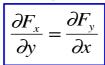
$$\vec{F} = -\frac{GmM}{\left|\vec{r} - \vec{R}\right|^2} \frac{\vec{r} - \vec{R}}{\left|\vec{r} - \vec{R}\right|}$$

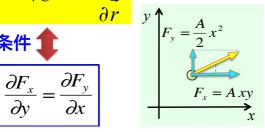
2

保存力とポテンシャルの関係

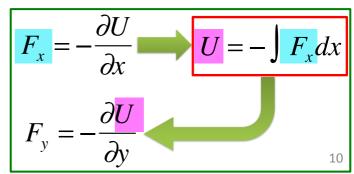
問題(1)力Fが保存力であることを示せ。 (2)力 Fによるポテンシャルを求めよ。

$$\vec{F} = -\vec{\nabla}U = -\frac{\partial U}{\partial \vec{r}}$$





保存力→ポテンシャル



保存力がする仕事は経路によらない

問2 (1)
$$\S 3$$
 (9) 参考 $F_y = \frac{A}{2}x^2$ $F_y = \frac{A}{2}x^2$ $F_y = \frac{A}{2}x^2$ を満たすような U が存在する。

を満たすような U が存在する。

$$F_x = -\frac{\partial U}{\partial x}, \quad F_y = -\frac{\partial U}{\partial y}$$

の両辺をそれぞれv,xで微分すれば、

$$\frac{\partial F_x}{\partial y} = -\frac{\partial^2 U}{\partial y \partial x}, \quad \frac{\partial F_y}{\partial x} = -\frac{\partial^2 U}{\partial x \partial y} \longleftrightarrow \boxed{\frac{\partial F_x}{\partial y} = \frac{\partial F_y}{\partial x}}$$

問2(2)

(1)より、*F* は保存力なので、

$$F_x = -\frac{\partial U}{\partial x} \qquad F_y = -\frac{\partial U}{\partial y} \quad が成り立つ。$$

ここで、 F_x の式の両辺 $\overline{\boldsymbol{e}_{\boldsymbol{X}}}$ について積分すれば、

$$U = -\int F_x dx = -\int A xy \, dx = -\frac{A}{2} x^2 y + C(y)$$
 3

(C(y):x に依存しない

また、 F_{ν} の式に3を代入して、

任意の関数)

11

$$F_{y} = -\frac{\partial U}{\partial y} = -\frac{\partial}{\partial y} \left\{ -\frac{A}{2}x^{2}y + C(y) \right\} = \frac{A}{2}x^{2} - C'(y) = \frac{A}{2}x^{2}$$

よって、
$$F$$
 が保存力である条件は、
$$\frac{\partial F_x}{\partial y} = \frac{\partial F_y}{\partial x}$$
 である。
$$F_x = A x y$$
 ここで、
$$x$$

$$F_x = Axy$$
 $\frac{\partial F_x}{\partial y} = \frac{\partial}{\partial y}(Axy) = Ax \cdot 1 = Ax$ (1)

$$F_y = \frac{A}{2}x^2$$
 $\frac{\partial F_y}{\partial x} = \frac{\partial}{\partial x} \left(\frac{A}{2}x^2\right) = \frac{A}{2} \cdot 2x = Ax$ ②

: (1) = (2)より、F は保存力である。

すなわち、

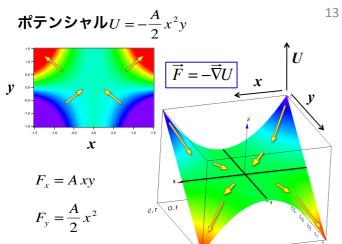
原点 (x = y = 0) におけるポテンシャル U = 0 だから、 ③、④式より、

$$-\frac{A}{2}(0)^2(0) + C = C = 0$$

以上より、

与えられた保存力 F によるポテンシャルは、

$$U = -\frac{A}{2}x^2y$$

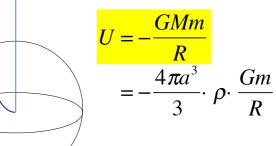


第2回

10/21 力学Ⅱ講義

球と質点

球を質点とみなせば簡単 *GMm*



球の質量=球の体積×密度

19

§ 4. 2 球による万有引力 **万有引力ポテンシャル** 20

$$U = -\int \frac{Gm \frac{dM}{r'}}{r'} = -\int \frac{Gm \rho dv}{r'}$$

極座標変換

$$= -Gm\rho \int \frac{r^2 \sin\theta dr d\theta d\phi}{\sqrt{R^2 + r^2 - 2Rr\cos\theta}}$$

極座標積分の方法をマスターする

ステップ1

dv

距離 r'における ²³ 球の微小体積*dv* の質量*dM*を考える

$$U = \int dU$$

$$= -\int \frac{GmdM}{r'}$$

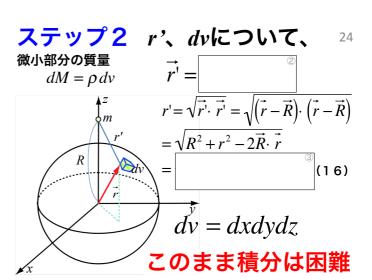
$$= -\int \frac{Gm\rho dv}{r'}$$

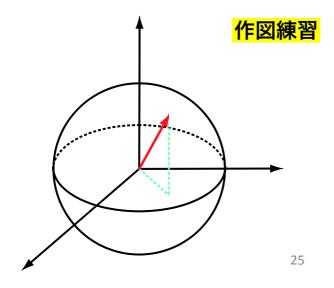
$$= \boxed{ (14)}$$

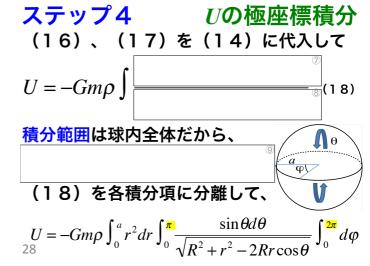
問題

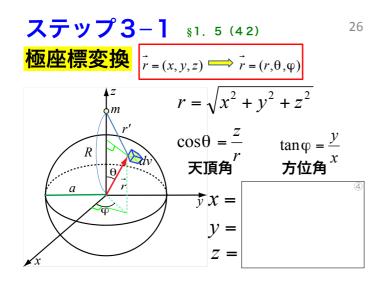
半径 a、密度 ρ 、質量Mの球が 球の中心から R 離れた質量 m の質点 に及ぼす万有引力ポテンシャルを求めよ。

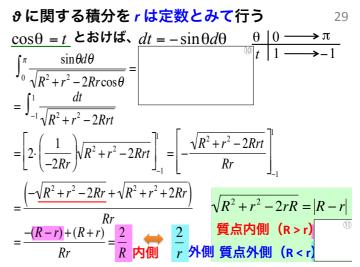
- (1) 質点が球外(R > a)にある場合
- (2) 質点が球内(R < a)にある場合

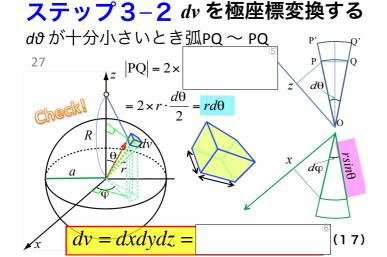


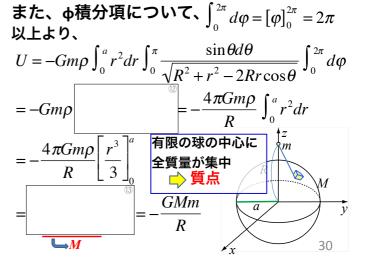












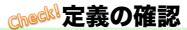
問題

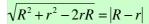
半径 a、密度 ρ 、質量Mの球が 球の中心から R離れた質量 mの質点 に及ぼす万有引力ポテンシャルを求めよ。

(1) 質点が球外(R > a)にある場合

$$U = -\frac{GMm}{R}$$

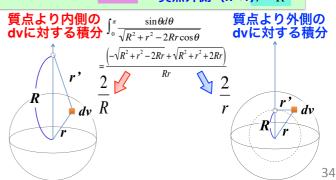
(2) 質点が球内(R < a)にある場合





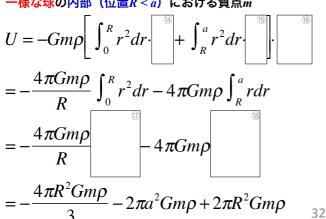
質点内側 (R > r) R − r

質点外側 (R < r)r-R



演習4.3 (p.73) 球内の質点が受ける万有引力

一様な球の内部(位置R < a)における質点m



問題

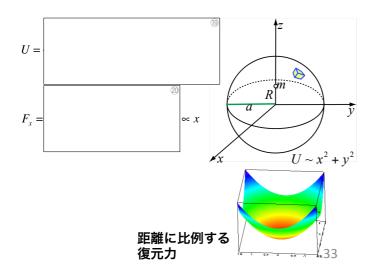
地球の表面にある質量 1kgの物体 にはたらく引力をもとめよ。

地球半径 $a = 6.37 \times 10^6 \,\mathrm{m}$

地球質量 $M = 5.98 \times 10^{24} \text{ kg}$

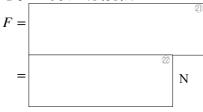
万有引力定数 $G = 6.67 \times 10^{-11} \text{ N m}^2/\text{kg}^2$

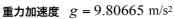
35



地球上の重力

地表にある1kgの物体が 地球から受ける万有引力







-様な球が球外の質点mにおよぼす万有引力は 球の中心にある質点Mが質点mにおよぼす 万有引力に等しい